

平成21年度 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		藤井寺市商工会
	代表者職・氏名		会長 大西喜信
	所在地		〒583-0027 大阪府藤井寺市岡1-2-16
	担当者	職・氏名	事務局長 田中義孝
		連絡先	電話番号(直通) : 072-939-7047
Fax : 072-952-3118			
		E-mail : fujisho@f-sukiyanen.or.jp	
設立年月日 職員数 (うち経営指導員数) 所管地域 管内事業所数 管内小規模事業者数 会員数(組織率)		昭和37年6月14日 8名(8名) 藤井寺市 2,728 (平成18年事業所統計調査による) 2,057 (平成18年事業所統計調査による) 1,492 (54.7%) (平成21年9月30日現在)	
、、、につ いては直近の数字を記 載のこと			
主な事業概要(定款記載事項等)			
商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 商工業に関する調査研究を行うこと。 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員のための事務を含む)を処理すること。 大阪府商工会連合会の委託を受けて、商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 外国人研修生受け入れに関する事業を行うこと。 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。			

各種データ

藤井寺市商工会

経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	19	0	8	11	35	3	0	0	0	76	38	社 社
建設業	0	13	0	13	9	19	0	0	0	0	54	35	
小売業	0	16	0	10	26	14	0	0	0	0	66	42	
卸売業	0	1	0	2	2	1	0	0	0	0	6	5	
サービス業	0	9	0	10	14	14	0	0	0	0	47	29	
その他	0	13	0	24	19	24	0	0	0	0	80	44	
小計	0	71	0	67	81	107	3	0	0	0	329	193	
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	71	0	67	81	107	3	0	0	0	329	193	188

その他の内訳

{ }

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	23	0	26	17	158	1	0	0	0	225	62	社 社
建設業	0	21	0	27	32	142	3	0	0	0	225	97	
小売業	0	13	0	13	34	55	0	0	0	0	115	60	
卸売業	0	0	0	11	2	28	0	0	0	0	41	17	
サービス業	0	14	2	20	26	107	0	0	0	0	169	63	
その他	0	14	1	33	39	78	0	0	0	0	165	64	
小計	0	85	3	130	150	568	4	0	0	0	940	363	
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	85	3	130	150	568	4	0	0	0	940	363	356

その他の内訳

{ }

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

藤井寺市商工会

(1) 事業の目標

今年度は、地域内支援対象事業者が抱えるさらなる課題の把握とその解決に努め、地域資源を有効活用する事や各種支援機関並びに行政等へのコーディネートを経営的に行う事で地域商工業の活性化を図ることを主たる目標とし、地域内支援対象事業者に対して、きめ細かで内容の充実した巡回相談を 1,000 件、満足が得てもらえる内容の窓口相談を 2,400 件行うことに重点を置くこととする。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

巡回、窓口相談において相談者からの質問に対する回答だけにとどまらず、経営指導員が事業者の観点に立ち事業者自身が気づいていなかった、さらなる課題を導きだし、その解決策を提案することにより、きめ細かく内容が充実した経営支援が行えるようにした。

各種支援機関や行政機関との連携や連絡を密にとることにより情報収集の迅速化に努め、その情報の有効利用を図るため経営指導員間でのミーティング、研修会や説明会に参加した指導員より随時内容の報告と説明、業務日報と共に収集した情報、資料の回覧を行い情報の共有化と経営指導に有効な知識向上を図りワンストップサービスをより一層充実させるようにした。

観光施設を利用した集客イベントの開催や商店街に観光施設案内タペストリーを設置するなどし観光客を始めとする流入者を増加させる仕組みづくりを行った。

販売促進活動を推進することにより市内商業者に地域商業活性化へのきっかけ作りを行うと共に行政機関(市)とも連携をとり行政からの補助金の利用促進を図り事業者の費用負担の軽減を行った。

地元、四天王寺大学との商学連携や行政機関(市)を巻き込み商店街の調査研究を行うことで商業者に刺激を与え地域商業の元気を取り戻してもらおう基盤作りを行った。

相談支援、各種事業、各種講習会において利用者アンケート調査を実施しその結果をふまえ次への経営支援対策へと活かして行けるようにした。

(3) 事業を実施した効果

事業者の事情に応じた的確で迅速な経営支援を行うことにより一事業所では解決できない問題を解消し事業経営の改善へと繋げていくことができた。

各種支援機関・行政機関、経営指導員間で連絡を密にとることによりコミュニケーションが円滑になり、経営指導員の資質向上、今後の指導力強化、一層のワンストップサービスの充実に繋がった。

地域商業活性化事業の推進に消極的であった店主がその刺激により、やる気と元気を取り戻し始め積極的に活性化事業に取り組みだした。

商学連携や行政機関(市)と連絡を密にとり地域商業活性化事業を推進していることにより、地元学生(大阪芸術大学、大阪女子短期大学、大阪府立大学、四天王大学)の有志達が集まり(名称、フジイデラックス実行委員会)地元商業施設をもっと活性化させようと販売促進事業への参加の申し出があり、事業者の積極的な活性化事業への取り組み機運が高まった。

さらには、行政機関(市)から新たな補助金(仮称、藤井寺まちかど情報館設置事業補助金)の交付要綱が決定し、地域産業活性化事業がより一層進めやすくなった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

急激な経済状況の変化に伴い、地域内小規模事業者が抱える問題が複雑になり相談指導時間がより一層多く必要となった、問題を早く把握し、迅速に応える体制作りが必要である。

地域内産業の活性化を図るためには商店街の活性化が不可欠である。商工会と店主や商店街さらには行政機関、教育機関とのより一層の連携推進が求められる。今後は、地域内の小規模事業者等に対して継続的な支援はもとより、事業者自身がその経営により一層前向きに取組めるような仕掛ける支援体制が必要となっている。

(5) 来年度への取り組み

上記の問題解決に向けて、地域内の小規模事業者等が抱えるさらなる課題の把握とその解決に努め、具体的な取組み方法を検討することにより計画的な経営支援体制を整え、適時、適切な経営支援を展開する。また地域資源や各種支援制度を有効活用する事や各種支援機関並びに行政等へのコーディネートを経営的に行う事で地域全体を元気付かせ地域産業全体の活性化を推進する。

藤井寺市商工会

一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

巡回指導においては、月約80件の巡回指導を目標として、地域内での巡回担当地区を各指導員に配分し、巡回における移動時間を短縮をする事で、より効率的で充実した巡回指導を行うと共に地区内の情報収集を容易にする事をポイントとし、小規模事業者の必要とする支援を積極的に提供し各種施策の普及や利用を促進させ事業者の事情に応じた的確で迅速な経営支援を行い、一事業者では解決できない問題を解消し事業経営の改善へと繋げて行くことができた。窓口相談においては、昨年度と同ベースの月約200件の相談目標として、ワンストップサービスの着実な実施をポイントとし、経営指導員間で新情報の報告会を開催し情報の共有化を行い、経営指導員の資質向上、今後の指導力強化、一層のワンストップサービスの充実を図り利用者の満足度を向上に繋げることができた。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	巡回相談件数	1,000	329	32.9%	93.5	4
窓口相談	窓口相談件数	2,400	940	39.2%	93.5	4

課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

事業経営において事業者が自ら専門的でより高度な知識を修得する事をポイントとし、高度で複雑な課題を解消すると共に事業所の負担を軽減し効果的な経営に資することができ経営改善に繋げることができた。小規模事業者が必要とする資金調達を円滑に支援する事をポイントとし、低利で利用しやすい小規模事業者経営改善資金借り入れあっせんの実施により、資金繰りの安定を図り経営の安定化へと繋げることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	あっせん件数	45	25	55.6%	84.9	4
記帳支援	継続	指導事業所数	40	32	80.0%	80.0	4
法務支援	継続	相談実施日数	6	3	50.0%	86.0	4
税務支援	継続	相談実施日数	24	12	50.0%	87.3	4
労務支援	継続	相談実施日数	24	12	50.0%	93.1	4

専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

経営者として必要な知識(労務・税務・金融・IT・事業承継問題)を修得することにより事業経営において起こりうる問題の解決とトラブルの回避を行うことをポイントとした。資金繰りの安定や雇用の維持を図ることにより経営基盤を安定させることができた。経理処理を容易にすることにより事業所の負担を軽減すると共に経営状況の把握が可能となり経営の安定化が図れる(未実施)。高度なプレゼン知識を修得し事業や商品の魅力をPRする手法として活用し事業の繁栄へと繋げる(未実施)。事業承継問題を軽減することにより事業者の不安感を減少させ経営の安定へと繋げていくことができた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	雇用保険助成金活用セミナー	新規	参加人数	30	11	36.7%	80.0	4
	簿記教室	継続	参加人数	30		0.0%		
	金融説明会	継続	参加人数	20	8	40.0%	81.7	4
	パワーポイント講習会	新規	参加人数	15		0.0%		
	事業承継者のための経営入門研修	新規	参加人数	20	20	100.0%	94.2	4

地域活性化事業

支援のポイント・成果

市内の商工業者に対して事業の活性化を積極的に支援する事により、市内商工業全体の業績向上を図ることをポイントとし、各種支援機関や行政と事業連携により、事業者の費用負担の軽減、円滑な活性化事業の推進と仕組み作りを図り活性化事業を実施することにより商店主がその刺激により、やる気と元気を取り戻し始め積極的に活性化事業に取組みだした。地域全体の活気を取り戻す事で新たな販路開拓やビジネスチャンスを生み出し、地域産業全体の発展に繋げることができた。市内観光施設を地域資源として活かし地域活性化を図るとともに観光客増加による地元購買力の向上、事業関係者の連携に繋げることができた。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	小山団扇復活事業	継続	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	道明寺粉作品コンクール事業	新規	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	定額給付金交付に伴う販促事業	新規	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	商業施設代表者会議	継続	事業達成度	100	80	80.0%	80.0	4
	商店街の現状調査研究	継続	事業達成度	100	60	60.0%	80.0	4
	藤井寺まちかど情報館(仮称)事業	新規	事業達成度	100		0.0%		
	ふじいでら物産展	継続	参加企業数	10	14	140.0%	75.2	3
	大阪勧業展	継続	参加企業数	1		0.0%		
	産業フェア in まつばら	継続	参加企業数	1		0.0%		
	地域創造ファンド事業	継続	事業達成度	100	20	20.0%	50.0	3
	地域力連携拠点事業	継続	事業達成度	100	40	40.0%	50.0	3

藤井寺市商工会

事業名	定額給付金交付に伴う販促事業					
新規/継続	新規					
想定している実施期間	21 年 (開始) ~ 21 年 (終了)		今年度 1 年目			
実施期間全体を通じて予定している事業計画	定額給付金の交付に伴い市内商店の売上向上を目的とした販促グッズの配布と設置を行う。消費者の購買意欲を向上させ消費の拡大を図る。					
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果					
本事業の対象となる地域の現状や課題	本市商工業は、急激な経済状況の悪化に伴い非常に厳しく且つ深刻な状況にあります。一部大型商業施設撤退や商店街の空洞化、購買客の市外流失などで売上減少が大きな問題となり、新たな集客力の創出や地域内消費の活性化等が課題とされている。また、藤井寺球場の廃場、取り壊しが行われ、大きな観光資源を失い全国的に有名であった藤井寺市の知名度が低下している、既存する観光資源の有効活用や新たな観光資源の創出により知名度を回復させ観光客を始めとする流入者の増加を図り、地域全体の活気を取り戻し、しいては地域商工業全体の発展をさせることが課題となっている。定額給付金の交付に伴い販売促進グッズを市内各所に配布、設置する事により消費者の購買意欲を高め売上向上を図る。					
目標に対する実績	指標	事業達成度				
	目標数値	100	実績数値	80	達成率	80.0%
目標	定額給付金の交付に伴い市内商店の売上向上を目的とした販促グッズの無料配布と設置を行うことで事業者の負担を軽減すると共に消費者の購買意欲を向上させ消費の拡大を図り売上向上を目標とする。 数値については、満足度を100とし定額給付金の交付終了時期をめぐり商店街を中心にその効果をアンケート調査する。					
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	懸垂幕、横断幕の設置 平成21年4月15日～9月30日 藤井寺市商工会館、イオンモール株式会社、藤井寺市役所、藤井寺市役所支所 平成21年4月15日～6月30日 藤井寺駅、道明寺駅 定額給付金販促グッズの配布 平成21年4月初旬～ のぼり300本、ポスター600枚、イベントカード2000枚 以上3点を市内商店街、商業施設、特定郵便局、各個店に配布、ポスターは市内の市広報板にも貼り付けた。 上記の方法にて4月初旬から「LOVE FUJIEDERA大感謝祭」を開催、藤井寺市内での定額給付金利用を呼びかけた。					
マスコミ等に 取り上げられた回数						
PR方法と その影響	商工会の広報媒体、HPによる販促グッズ配布PR 藤井寺市との連携により定額給付金給付決定通知書の裏面に販促ポスターと同デザインを印刷し対象市民全員にPRした。					
利用者満足度(点)	80					
事業評価	4					
実施した効果	藤井寺市内の商業者、藤井寺市、近畿日本鉄道株式会社、イオンモール株式会社との連携により情報交換が容易に行えるようになった。 特に市内商業者は販売促進活動を考えてもらえるきっかけ作りができた。 商店街の元気を取り戻してもらった基盤づくりの効果が有った。					
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	現在、アンケートに付いては実施中で商業者の意見を収集している途中であり、その結果を踏まえて次期への計画に活かして行く。					
事業全体の収支状況	収入(予定)			支出(実績)		
	小規模補助金	1,050,000円	活動費	540,000円		
	商工会負担金	500,000円	ポスター・のぼり・イベントシート作成費	693,000円		
			懸垂幕作成、設置費	273,525円		
			配布文章等印刷費	21,000円		
		消耗品費	896円			
	計	1,550,000円	計	1,528,421円		